

「コミセン湘南まつり」にドッと800人

昨年11月15日に青空の下で「コミセン湘南まつり2025」が開催された。野外特設ステージでバンド演奏、ZUMBA体験などの催し、利用団体などによる模擬店（野菜、スイーツなど）販売を楽しんだ。目玉は今回から始めた「スノードーム作り」。小学生らに人気でチケットは即完売だった。来賓客は佐藤光市長ら14人、来場者数は800人を超えた。

大人も子供も昔の形式美の「お点前」を習った



「スノードーム」に子供の人気集中

2階ロビーではスノードーム作りに朝早くから子どもたちが並んだ。手の平サイズのプラドームに好きな小物を入れて自分好みのメルヘンの世界を助っ人のお姉さんの手を借りつつ作った。色々な組み合わせを考えながら個性豊かな作品が出来上がった。「自分のお部屋に飾る」「玄関がいいかも」とみんな嬉しそう。材料費は100円。アツという間に完売した。

朝採れ野菜に「安い」



前回より参加の「湘南潮音太鼓」さんのメンバーは大太鼓、小太鼓の見事なバチさばきで観客をうならせた。小四男児も加わり「オッ!」「ヤッー!」とかけ声も勇ましく時間を忘れさせた。

おどぎの自分の世界をつくれなよ

④ メルヘンの世界が子供たちの手で作られていく

⑤ 満足のいく材料を集めて完成



模擬店ではカボチャ、サツマイモ、しょうがなどが並び焼きそば、ホットドッグや梅ジャム、クッキーなどを求める客で賑わった。

再び室内に目をやると、柳島小児童の作品展や中島中美術部が主催する似顔絵、プラ板づくりで会場はいっぱい。和室の茶道は昨年以上の好評を得て満席となった。最後に抽選会も行われ抽選券200枚が配布完売した。1等1万円の商品券、2等5千円のお米などの景品目当てに大盛況。当選番号が読み上げられると「ウォー!」と歓声が上がり大盛り上がり、まつりの最後を飾った。



当選者は笑みを浮かべ商品を受け取った

★トピックスは裏面



打って打ち返すラリーで爽快な気分

【8月11日、21日 卓球解放DAY】大会議室で開催。11日は大雨の中15名が参加。21日は好天に恵まれ24名が競技を楽しんだ。最近、施設利用で卓球をやる団体が増え、わくわくらんどの児童の間でも卓球は非常に人気があるので、気軽に楽しんでもらおうと企画した。小学校低学年から大人まで夢中で球を追った。大汗をかいいた後にかき氷も出され「特別に美味しかった」と参加者。「また、来年もやってね」と好評だった。

慣れない手付き、でもおいしく作れた

【9月3日 男の料理教室】講師に神保貞子さん、平石実千代さんをお迎えして初の企画を行った。男性3人、女性4名が参加し「揚げない油淋鶏」「かぼちゃのチーズ焼き」など4点を作った。慣れない手付きで揚げ焼きをするなど講師に手ほどきを受けながらやり遂げた。「これをきっかけにして、家でもレシピを見ながら挑戦したいな」と参加者は自信を手みやげに帰宅した。



知らない人の拍手が何ともうれしい

【9月28日 カラオケ交流会】大会議室にて5回目の開催となった。飛び入り4名を入れて19名が石原裕次郎やサザンなど幅広く熱唱した。参加者は見学者、付き添いが10名、合計29名が2時間余り自慢のノドに酔いしれた。参加者の一人は「知らない人の拍手がうれしい。若い人の歌を楽しめた。来年はドンドン参加者が増えて私の知らない歌も聴かせて欲しい」と楽しい一時を過ごせたようだ。

淡いライトにオバケが浮かんだよ

【10月15日 ハロウィン・ランタン作り】母親と子供が午前中21名、午後9名がわくわくらんどに集まった。トレーシングペーパーにディズニー系や鬼滅の刃などの塗り絵を写してみたり、用意したオバケやカボチャのシールを貼ったりして、思い思いのランタンが出来上がった。最後にみんなで淡いライトを点けて浮かび上がらせると「ワーツ！」と歓声が上がった。帰ってから自分の部屋を真っ暗にしてランタンを点け満足に浸った。



お金儲けのコツを昔から教わった

【10月16日、23日、30日 大人向け文学講座】大人向け文学講座「井原西鶴の才覚」と題して講師に元高校教師の藤野敬子さんをお迎えして3回シリーズで行った。この講座は4回目で定員いっぱいの25名が参加した。「日本永代蔵」と「世間胸算用」をひもといた。お金儲けのコツ、お金の貯め方、三井の商法、元手なしでも食っていく方法、町人の理想の生き方、借金取りの撃退法など現代にも通じる、興味を引く話ばかりだった。

